

教育最前線

連載 35

●ポラスグループ

職場ごとに行うKYTによって、社員の安全意識を高め、事故防止につなげる



平成3年から毎年開催している「安全衛生大会」には、ポラスグループの社員も参加。最前線に、「ポラスグループ完全ゼロ災害でいこう！ヨシ！」と全員で唱和する。

グループ各社のすべての

「絶対にやめない」という社長の強い決意があったからです」と小玉さんは話す。現在、ポラスグループ内で活動しているKYTトレーナーは180名（20代後半から30代が中心）。グループ24社の各部署（課単位）に最低1名は配置されている。部門責任者以外の社員で、「役職社員または入社4年以上」「直近1年以内に交通事故や交通違反を起こしていない」等の条件を満たした者がKYTトレーナー研修を経て任命される。

また、新卒や中途で入社する社員を対象にKYT研修会を開催し、ゼロ災害運動の理念を理解してもらい、KYTの考え方を習得できるようにしている。「KYTの考え方を身につけることで、仕事の幅も広がります。相手側の立場で考える力を身につけることは、お客様からのクレームをなくすこ

社員は、毎月最低4枚、運転や業務の場面で自分が体験したり、目撃したことをもとに「ヒヤリKYシート（右写真参照）」を作成し、KYTトレーナーに提出している。このシートを毎朝5分程度実施している「ショートタイムKYT」で活用するため。さらに、KYTトレーナーは毎月1回「自主KYT」を実施している。内容は外部講師を招いての安全講話、インターネット上に公開されているドライブレコーダーの映像をもとにした事故事例研究、災害防止をテーマとする討論会など、文字通りKYTトレーナーの自主性に任されている。グループ各社、部署によって業務も異なるため、その職場に最適なKYTができるようにしているのだ。

小学生へのKYT教育では、「ショートタイムKYT」の手法を用いて児童に普段利用している通学路に潜む危険を考慮してもらい、1クラスをいくつかの班に分け、班ごとにKYTトレーナー1名が指導にあたる。「子どもたちが何か行動を起こす時にそれは安全なのか立ち止まって考えるきっかけになれば」と小玉さんは願う。題材となる交

通場面は、事前に各学校の通学路の状況をイラストにして用意しているそうだ。「子どもたちの発想は豊かですから、大人が思いつかないような危険を見つけることもあります。担当するKYTトレーナーにとっても新たな気づきがあり、指導者として成長する機会にもなっているようです」。この取組みは小学校の先生方にも好評で、平成13年に1校からスタートし、現在は市内15校で行われている。この他、ポラスグループでは法定安全運転管理者に加えて、各社各部門をプロックごとに社内安全運転管理者を約70名任命し、社員への安全運転指導体制を充実させている。また、交通安全センターレインボー埼玉などを利用して効果的な安全運転教育のノウハウを取り入れている。こうした地道な取組みによって、同グループの事故や労災は確実に減少している。「しかし、まだゼロではありません。これからも通勤中、業務中、プライベートを含めた「24時間トータルゼロ災害」の実現に向けて、活動を継続していきたい」と小玉さんは力強く語った。



ポラスグループの取組みは安全活動の好事例として、昨年11月に交通安全教育センターレインボー埼玉・和光が企業・団体の安全担当者を対象に開催した「2014トラフィックセーフティ・フォーラムin埼玉」で紹介された



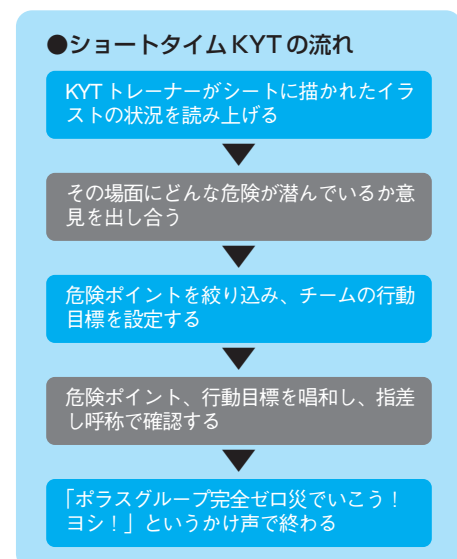
越谷市内の小学校でのKYT教育。児童に行動目標を唱和してもらい。題材となるイラストは通学路の状況を描き起こしている

社員による交通事故は経営者の責任

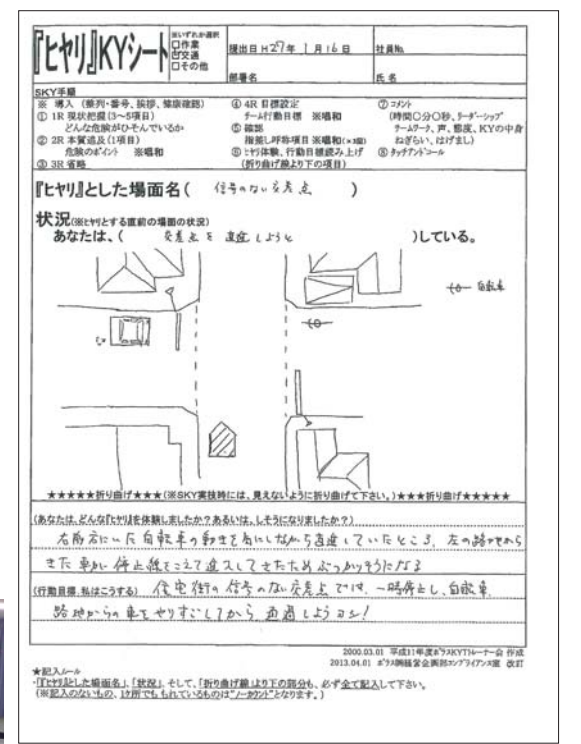
ポラスグループは直営一貫施工体制で高品質の住宅づくりを実現するなど、住宅・不動産・建設に関する事業を埼玉県、千葉県、東京都を中心に展開している。グループの中核となるポラス（株）、（株）中央住宅、ポラテック（株）をはじめ、グループ会社は24社におよぶ。同グループで使う車両は軽自動車から4トントラックまで多様で、営業エリア内では毎日約1700台が動いているため、グループ全体で安全活動に力を入れている。

日々のKYTの継続で社員が効果を実感

「最初は多くの社員がKYTに懐疑的で、『やらされ感』で続いているという感じでした。しかし、確実に交通事故件数は低減し、10年かけて半減させることができたのです。KYTの効果を実感できたことで社員一人ひとりの意識が変わり、積極的に取り組むようになりました。粘り強く継続できたのは、『事故や労災をなくすために、絶対にやめない』という社長の強い決意があったからです」と小玉さんは話す。現在、ポラスグループ内で活動しているKYTトレーナーは180名（20代後半から30代が中心）。グループ24社の各部署（課単位）に最低1名は配置されている。部門責任者以外の社員で、「役職社員または入社4年以上」「直近1年以内に交通事故や交通違反を起こしていない」等の条件を満たした者がKYTトレーナー研修を経て任命される。



グループ各社の全社員が作成している「ヒヤリKYシート」。毎朝実施する「ショートタイムKYT」で活用されている



KYTトレーナー研修会をはじめ、新入社員や中途入社社員、新任マネージャーなどを対象にしたKYT研修会を行っている